

■ 令和5年度 第2回西区自治協議会

日時：令和5年5月30日（火）午後3時

会場：西区役所健康センター棟1階 大会議室

（司 会）

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第2回になります西区自治協議会を開催させていただきます。

本日の出席委員は26名、リモート参加1名の予定であります。新潟市区自治協議会条例の第9条第2項の規定を満たしておりますので、本日の会議が成立していることをご報告させていただきます。

なお、本日の会議について、会議録の公表に当たり正確性を期すために、会議の内容を録音させていただきますことをご了承いただき、またご発言の際には所属とお名前をお知らせいただきたいことをお願いさせていただきます。

それでは、最初に資料の確認からさせていただきますと思います。事前に配布させていただきました資料は、本日の次第と資料No.1番から5番までになっております。本日お持ちでない方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせいただきたいと思います。

また、本日机の上に資料を置かせていただきました本日配布資料について確認をさせていただきます。まず一番上に載せていただいたのが、座席表となっております。次に2枚目になりますが、本日の次第の差し替えになります。次、3枚目になりますが、資料No.1番の差し替え、こちらも差し替えになります。次ですが、資料No.4番、こちらも送らせていただいた資料の差し替えとなっております。続いて資料No.5番、こちらも送らせていただいた資料の差し替えとなっております。6枚目の資料になりますが、当日配布させていただいた資料No.1番「西区区ビジョンまちづくり計画第4次実施計画年度末評価について」、次の資料が当日配布資料の2番「新年度！もっと知り合おう！交流ワークショップ企画案」について、次が当日配布資料の3番「イノシシの目撃情報について」、また資料番号はありませんが、もう一つ「自治協議会新任委員研修会での質問・意見に対する回答」も置かせていただいております。また、そのほか、各種事業のチラシも配布させていただいております。

資料の確認は、以上となります。よろしいでしょうか。

それでは、これから始めさせていただきますと思いますが、これ以降の議事進行につきましては、大谷会長にお願いいたします。

(大谷会長)

それでは、会議を進めてまいります。

議事の(1)「新潟市防災会議委員の推薦について」及び議事(2)「新潟市国民保護協議会委員の推薦について」であります。岩沢第1部会長より、部会長就任の抱負を述べていただきましてから、議事案件について並びに部会の状況報告を併せてお願いいたします。

(岩沢委員)

第1部会の岩沢でございます。

それでは、今会長からお話がありました議事の(1)(2)につきまして説明をさせていただきますと思います。

まず、資料4を出していただけますでしょうか。差し替えのもの。私ども第1部会は、伊藤さんから始まりまして高橋直子さんまで、このメンバーであります。その中で、防災の委員を決めさせていただきました。まず最初に、防災につきましては、古俣くんが防災のベテランということで、たまたまいましたので、誰の反対もなく古俣くんということであります。それから、2番目の保護協議会につきましては、毎度ながら女性の率を上げようということで、女性を選ぶことにしました。メンバーの中で高橋直子さんが載っているかと思いますが、高橋直子さんにやってもらおうということで、これも全員が賛同しまして決まりました。ありがとうございました。それにつきまして、あいさつ。

(大谷会長)

後で報告しますので、岩沢部会長の就任の抱負を少し述べていただいて、それから部会の報告をお願いします。

(岩沢委員)

改めて就任といいましても、2年前に部会長をさせられまして、もう終わりかなと思いましたが、何か分からないけれども残った中で一番古いということになりまして、またやります。ご案内のとおり、私は秋田弁でありますので、皆さん方には大変ご迷惑をかけると思いますが、私も頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。

(大谷会長)

部会の報告をお願いします。

(岩沢委員)

では、資料5を出していただけますでしょうか。初めての方もおられますので所管分野、第1部会としまして防犯、防災、自然環境、住環境等であります。第2回の第1部会、5月9日であります。場所は、その105会議室です。出欠につきましては、下記のとおりであ

ります。

主な議事としまして、当然ながら新任の方もありましたので、自己紹介ということでさせていただきます。そして2番目といたしまして、8期の第1部会の活動について説明がありました。3番目といたしまして、区民で取り組む環境美化事業年間スケジュールということで話がありました。そしてその中で委員から出た主な意見は、以下のとおりでございます。まず一つは、パートナー制度についてということで、委員でごみの多い場所を巡視してはどうかと。と言いますのは、2年前、第1部会で非常に多いところを車で巡回しました。今一度反省の意味で、今回も全員で巡回しようということで、現状を把握する意味でしょうということになりました。それから、既存の取り組みも含めてコミュニティ協議会から参加してもらえば、西区を網羅できるのではないかと。これは、ご案内のとおり、自治協議会におきましては、15 コミュニティ協議会の代表選手がいらっしゃいます。何と云ってもこれで構成されておりますので、コミュニティ協議会としても、我々自治協議会だけではなくて、コミュニティ協議会の会員でやっていただくことこの狙いでもあります。これは少し面白くないのですけれども、競争させると盛り上がるのではないかとこののですけれども、ゴミのあるところは多いけれども、ゴミがないところとか少ないところ、それを競争というのは少し無理だと思うのです。いずれにしても、統一してできることが大きな目的であろうと思っています。従って15 コミュニティ協議会にやってもらうということが大きな狙いがあります。それから、昨年度、16 団体からパートナー制度に応募していただきました。お願いはしたいけれども実態はどうなのかということで、我々も向こうからお聞きする必要があるだろうと。それによって改善するべきものは改善して、より効果を上げるのがいいだろうということで、回ることにしたいと思っています。それから、話の中でごみ拾いのイベントをやったらどうかという話がありました。これは、集めるのは多くの方が必要なのですけれども、多く集まると余計に危険があるものですから、場所取りが問題だということで、これは今後検討して、どこでやるのか、海でやるのか、別のところ、大きなところでやるか、とのことで、これは検討させていただきたいと思っています。最後になりますけれども、新たな事業は難しいので、既存の取り組みをもって、環境美化をもって、西区をきれいにプロジェクトとしてまとめたいというご意見でした。そして最後に、我々大人だけでなく、子どもも含めて西区をきれいにするという問題意識を上げたほうがより一層効果があるだろうということにさせていただきました。

それから、下のほうにあります、パートナー募集は、昨年度参加した16 団体からの要望を聞いて、再度見直すことにしました。イベントの実施は、来月また考えたいと思っています。

裏面を見ていただきますと、今ほどパートナーで 16 社ありまして、ここでせつかく長澤さんが広報紙でご活躍されていますので、これを有効に活用していただきたいということで、「西区を豊かに」ということで、パートナー等の名前を出して、うちは名前が載っているよというような誇りを持てるようなことをしたいらいいだろうということで、今、長澤さんと連携をとって、効果を上げるようにしたいと、こう思っています。

それから、今ほど言った防災、国民保護については、古俣さんと高橋さんに決定いたしました。

7 番、その他といたしまして、内藤副区長から犯罪の発生の状況についてお話がありました。あいかわらず、まだまだオレオレ詐欺等であります。皆さん、これを自覚して、騙されないように、一つお願いできるとありがたいと。次回は、6 月 6 日午後 1 時 30 分からであります。以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。ただいま新潟市防災会議委員と、それから新潟市国民保護協議会の委員の推薦をちょうだいいたしました。両委員を西区自治協議会として推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。

(拍手)

ありがとうございます。それでは、古俣和博委員、高橋委員、よろしく願いいたします。事務局は、推薦手続きをお願いいたします。

次に、議事の(3)「委員の辞任に伴う後任委員の推薦について」であります。委員推薦会議がまだ構成されておられませんので、事務局より説明をお願いいたします。

(高山地域課長)

それでは、議事の(3)としまして「委員の辞任に伴う後任委員の推薦について」でございます。資料 1 をご覧ください。4 月の本会で報告したとおり、坂井輪中学校区まちづくり協議会より選出されておりました菊池委員がコミュニティ協議会の役員交替により令和 5 年 5 月 20 日をもって辞任されました。任期途中で委員に欠員が生じた場合の後任委員の推薦については、前任委員と同じ団体へ推薦依頼をかけることを 4 月の本会でご承認いただいておりますので、本日は、団体から推薦いただいた委員についてご報告をいたします。

坂井輪中学校区まちづくり協議会より同協議会副会長の齋藤憲一様をご推薦いただきましたので、この場でご承認いただければと思います。なお、任期途中での交替となり、任期は前任者の残任期間を継ぐこととありますので、令和 7 年 3 月 31 日まで、所属部会は、前任委員の所属部会であります第 3 部会を引き継いでいただくこととしております。後任委員の詳細につきましては、別紙をご覧くださいと思います。説明は、以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。特に意見がなければ、説明のとおり決定いたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(拍手)

それでは、齋藤憲一委員は事務局が案内する席に着席をお願いいたします。

なお、齋藤憲一委員におかれましては、資料1の中に本日時点での名簿をお配りしております。本日初めて顔を合わせるかたもいらっしゃると思いますので、委員の皆様の顔を覚えていただければと思います。よろしくをお願いいたします。

次に、議事の(4)「委員の辞任について」になります。事務局より説明をお願いいたします。

(高山地域課長)

続きまして、(4)小泉委員の辞任についてということで、資料2をご覧ください。この度、内野・五十嵐まちづくり協議会の小泉利男委員からコミュニティ協議会の役員の交替により5月18日付けをもって辞任ということで届けの提出がございました。任期途中で委員の欠員が生じた場合の後任委員の推薦につきましては、前任委員と同じ団体の内野・五十嵐まちづくり協議会に推薦依頼を行うことを、推薦会議がまだ構成されていないため、この本会にてご審議いただきたいと思います。また、後任委員の推薦書が提出され次第、本会にてまた報告をさせていただきます。説明は、以上となります。

(大谷会長)

ありがとうございます。特に意見がなければ、説明のとおり承認したいと思います。いかがでしょうか。

(拍手)

ありがとうございました。小泉委員は本日欠席されておりますので、退任のあいさつは省略させていただきます。

続きまして、議事の(5)「西区自治協議会委員推薦会議構成委員について」であります。事務局より説明をお願いいたします。

(高山地域課長)

続いて説明をさせていただきます。議事の(5)ということで、資料3をご覧ください。4月の本会で、第9期の西区自治協議会委員推薦会議の常設について確認をしていただきましたので、運営会議と相談しながら構成委員の案を作成いたしました。前回お示しいたしました西区自治協議会委員推薦会議運営要綱に基づき、1号委員から6名、2号委員、3号委員からそれぞれ2名の計10名を推薦会議の構成委員といたしたいと考えております。選任

に当たりましたは、運営指針に規定されているとおり、会長、副会長を除く委員の中から地域バランスや委員経験、所属団体の分野などを総合的に考慮させていただいております。1号委員からは、西地区から伊藤甲一委員、渡邊恒彦委員、坂井輪地区から泉井委員、岩沢委員、黒埼地区から伊藤正弘委員、藤橋委員、2号委員からは大島委員、山賀委員、3号委員からは山岸委員、原澤委員、以上の10名でございます。候補者の皆様からは、すでに内諾をいただき、今月の運営会議で承認をいただいております。

以上、10名の方を今期の推薦会議の構成委員としたいと思いますが、よろしいでしょうかということでお願いいたします。

(大谷会長)

ただいまの説明について、特に意見がなければ原案のとおり決定したいと思います、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございました。それでは、推薦会議の委員の方々は、よろしくをお願いいたします。

続きまして、自治協議会からの報告の(1)「部会長及び副部会長の選任について」並びに(2)「部会の状況報告について」を議題といたします。資料4と5をご覧ください。各部会の部会長、副部会長が資料4に記載したとおり決まりましたので、ご覧いただきたいと思っております。なお、各部会長からは、抱負とございますか、意気込みについて述べていただきましてから部会の状況報告をお願いいたします。

第1部会は先ほどご報告いただきましたので、山岸第2部会長からお願いいたします。

(山岸委員)

今ほどご紹介にあずかりました、第2部会部会長になりました山岸と申します。よろしくをお願いいたします。自治協議会で3年目になり、きっと8期に続き、加代子さんが部会長になると思い、そしてもし副会長になられたと聞いたときには、きっと内々で決まっているのだろうとまったく油断していたところで、なってしまいました。拝命されたからには、それなりにやっていきたいと、頑張っていきたいと思っています。第7期、8期の思いを引き継ぎながら第9期に享受できるような何らかを皆さんで仲良く形づくっていったらと思っております。よろしくをお願いいたします。

続きまして、私から報告をさせていただきます。副部会長につきましては、新潟大学の澤邊潤先生が選出されました。併せましてどうぞよろしくお願い申し上げます。

部会の状況報告です。資料5をご覧ください。第2部会は、保健・福祉、文化・スポーツ、教育分野を所管する部会です。先日の部会では、これまでの活動の振り返りと今年度の取組

の方向性を確認しました。第8期では、重点的に取り組む地域課題である「支え合いの取り組みの輪を広げる」を念頭に、支え合いの大切さを広げるため、ポスターやチラシで啓発活動を行いました。また、昨年は、西区民の支え合いに対する認識と行動の実態を把握するため、アンケート調査やワークショップを行いました。その結果、支え合いは大切だと思っているが行動できていない人が多いことが判明しました。この結果を踏まえ、今年度は、支え合いに関する行動変容を促すため、その行動を起こすきっかけづくりとしての「あいさつ運動」と支え合いに触れるきっかけづくりとしての「場づくり」に取り組むこととしております。この二つの「あいさつ運動」と「場づくり」の具体的な企画内容については、次回以降報告させていただきます。以上、第2部会からの報告でした。

(大谷会長)

ありがとうございました。

続きまして、山賀第3部会長、お願いいたします。

(山賀委員)

第3部会の部会長を務めます山賀です。まちづくり学校の山賀と申します。よろしく願います。第3部会、私は去年まで副部会長だったのですけれども、長くやっているということもあって部会長に就任ということになりました。意気込みというところなのですが、第3部会は5月に会議をやったら、皆さん、すごくいい意見をたくさん出してくださって、これからもすごく楽しみなので、部会の皆さんの力と知恵を活かして、よりよい取り組みをしていきたいと思っています。私は調整役のような感じかなと思っていますので、ぜひ皆さんのお力をいただいて進めたいと思っています。よろしく願います。

では、第3部会の会議概要を報告いたします。所管分野は、産業、区の魅力発信、交通等です。会議の日程や出席者は記載のとおりです。

最初ということで、部会長、副部会長の新任あいさつ、委員、事務局の自己紹介を行いました。副部会長は、原澤委員に務めていただくことになりました。これまでの振り返りということで、前期までの取り組みについては事務局から資料を用意していただいて、私から説明しました。前期は、西区八景を選定するところまでで、チラシやホームページでの発信を事務局から行っていただいたところまでだったので、今期になってから、この決めた西区八景を活かしてどのようなことができるか、また何かやりたいことがあるかということテーマにしていくということを皆さんに合意していただきまして、それについて意見交換を行いました。資料の四角の枠囲みの中に出てきた意見をまとめていただいています。西区八景について、八景からもっと数を増やしたほうがいいのではないかというようなご意見ですとか、それから八景のもう少し詳しい位置とか、景色を見るのにいいタイミングとか、

それから行き方、それから周辺の情報なども併せて発信したほうがいいというご意見、それからこの部会には大学生も入っておりますし、ゲストハウスをやられていてお客さんを受け入れられる方もいらっしゃったので、もう少し車のない人でも訪れられるような交通面も考えていきたいというようなご意見もありました。あと、一度部会員で実際に現場を見たほうがいいのではないかとのご意見ですとか、昨年出てきたフォトコンテストというようなアイデアも、学生に限らず幅広い世代で行ったほうがいいとか、やり方に工夫をしたほうがいいというご意見もありました。それから、今、西区のホームページですとかチラシで発信していますけれども、総合的に西区の魅力ですとか、行われるイベントなどを発信するようなwebサイトがあるといいというようなご意見が出ていました。ほかは、今年度の区の魅力発掘事業の年間スケジュールについて、事務局からの説明をもとに確認いたしました。

次回の会議は6月8日で、ランチミーティングと称して、皆さんでご飯を食べながら会議をすることになりました。以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。

続きまして、長澤広報紙特別部会長、お願いいたします。

(長澤委員)

今回も広報部会長という、大変重い職を拝命いたしまして、私、広報に携わってから丸4年が経ちまして、今回5年目に入ります。なかなか思い描いている形と実際に紙面にもっていく中で、当然ながら理想と現実のギャップが生じているわけですが、それはそれとして、一つのテーマといいますか、一つの方向性、それはぶれないで今後取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、部会の報告に入らせていただきます。5月10日、第2回広報紙特別部会を行いました。参加委員は、表記のとおりです。この中で副部会長の選出については、新潟日報の記者の経験がございます古俣委員に副部会長をお願いさせていただきました。また、新たに伊藤委員、原澤委員、2名の委員の方が新しくメンバーに加わりました。

大まかな議事については、まず広報紙作成方針、またスケジュールについて、新しい委員もおりますので、事務局から改めて説明をしていただきました。また、先回の3月号、前期の3月号ですが、アンケートを区民の皆様からちょうだいしております。それについて、添付してあります資料、この会議概要を1枚めくっていただきますと、クロスワード候補者アンケート結果ということで、事務局から要点をまとめてもらいましたアンケートの結果について記載がございます。この内容については、重複するものとか、そういう内容を削除してまとめさせていただいております。ご覧いただいて、また今後皆様のご意見等を改めて配布



いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

続きまして、西区の区だよりの6月18日号、これの1面について、自治協議会の特集を組んでいただきました。こちらを資料として発行予定と紙面を載せさせていただきました。毎回同じような説明内容、自治協議会の説明内容等になるのですが、できるだけその年度の取り組みや活動内容を載せるようにさせていただいたということと、西区の自治協議会のあり方といいますか、位置づけなどについて、少し図を使ったできるだけ分かりやすいであろうという形で記載させていただきました。これについても、またいろいろなご意見等があるかと思いますが、お聞かせいただければ幸いです。

続きまして、第42号の企画について、こちらについて防災の連載企画とか、防災運動会を開催している地域があるという話とか、小針駅前の広場が完成しましたが、これからどのように地域で活用していくのか、また、日報等で連載されております越後線についても、改めて区民の視点から見つめてはどうかということで、いろいろなアイデアが出ました。具体的には、6月の部会をもってより方向性を発揮させていきたいと思います。

次回は、6月14日水曜日に区役所4階対策室にて第3回会議を行う予定です。以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。最後に、高橋アートフェスティバル特別部会長、お願いいたします。

(高橋委員)

お願いいたします。公募委員で2期目になります、高橋直子と申します。今回、アートフェスティバル特別部会の部会長をやることになりました。よろしくお願いいたします。公募委員で、公募委員と書いてあるのですが、どういう人間なのだろうというところだと思うのですが、私、東青山小学校でコーディネーターをしております。そういういろいろなご縁がありまして、この自治協議会に2期目ということでお世話になっております。今回、アートフェスティバル特別部会の10月21、22日の開催に向けて、委員の皆さんと力を入れて頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

では、会議概要の報告をさせていただきます。開催日時は、5月16日です。西区役所3階303会議室で行いました。委員と出席者については、このとおりです。

先回、部会長と一緒に副部会長の選出ということで、藤橋委員をお願いすることになりました。ありがとうございます。私、部会長になりまして、大変心細い思いでいっぱいだったのですが、このメンバー、委員6名になっていますが、前期から一緒につくってくださったメンバーなので、私、大丈夫かなと、皆さん、心強いメンバーなので、何とかかなるかなと思っております。

では、内容にいきます。これまでの振り返りを含めまして、令和5年度「西区アートフェスティバル」について考えていきました。前期の最終の協議会において、委員の皆様から郷土芸能に関してどこかご紹介いただける場所はないでしょうかとアンケートをさせていただきましたところ、このようなものがあるよという6団体の情報をいただきました。それをもとにこれからつくっていくわけなのですが、ご協力ありがとうございました。そして、委員から出た意見は、下記のとおりとなります。現在、本当にいろいろなジャンルの団体呼びまして大変な集客があったのですが、ジャンルは絞ったほうが良いということが委員の中から意見として挙がりまして、令和5年度の「西区アートフェスティバル」に関しては、郷土芸能というところをテーマに置きたいと思いました。郷土芸能だけでは実際に集客は望めないかもという意見があるのですが、その団体の皆さんの高齢化とか後継者不足の問題がある中で、そういう団体の活動にこそスポットライトを当てていくべきなのではないかというところで、これから考えてまいります。郷土芸能は、西区に存在するものに限定したほうが良いという意見も出ました。郷土芸能の発表は従来どおりホールでの発表が良いということで意見が出たのですが、これができれば一番いいのですが、難しい場合はパネル表示といいますか、こういう活動なのだよということを皆さんに知っていただけるような、掲示物というか、そういうパネル表示というものも考えております。次、去年はコロナ禍の中でのライブ配信を実施していたのですが、今年はそれは必要ないかなと思います。出演依頼は、各自治協委員からの回答などの6団体にこれから交渉にあたり、部会員で分担して行うことといたします。出演団体には、事業目的等をご理解のうえ、出演料という形ではお支払いせず、その映像のDVD等の記念品を贈ることといたします。昨年第10回という節目を迎えたこの「西区アートフェスティバル」で、まず0ベースから考えようということになり、この名称もこれでいいのかというところも一度立ち止まって考えたのですが、この名称はそのまま、「西区アートフェスティバル」のまま続けます。そして、その下にサブタイトルとしてその回のテーマを含んだものをつけさせていただこうと考えております。

次、2番です。「西区アートフェスティバル」における大学とのかかわりについてというところで、アートの部分で大学とのかかわりを考えていたところ、小学生の作品は来客の皆さんにとっても影響するので、これはあったほうが良いねという意見もあります。また、アート展示部門につきましては、昨年度同様、新大工学部によるアート作品、またアール・ブリュット作品、小学生の自由研究の優秀作品の展示、そして国際情報大学の写真部に作品を依頼したいと思っております。

この内容につきまして、ぜひこのアートフェスティバル特別部会に大学生二人、自治協委員のお二人をスカウトしたいと思って今お声がけをしているところではありますが、今日は

欠席でいらっしゃるし、まだ返答をいただけないということで、事務局から少しフォローを入れていただきたいと思います。

次回の開催ですが、6月15日に行います。次回の内容としましては、きっと団体への交渉のやり方ですか、サブタイトルについての協議が行われます。以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。各部長から大変意欲的な抱負を述べていただきまして、今年度の事業、大変有意義に進めさせていただけることを実感したところでございます。

それでは、報告の全体をとおして質問がございましたらお願いいたします。

質問はないようですので、次に進みたいと思います。続きまして、各所管からの報告の(1)「西区区ビジョンまちづくり計画第4次実施計画年度末評価について」であります。事務局、説明をお願いいたします。

(高山地域課長)

それでは、区ビジョンまちづくり計画の第4次実施計画進行管理表、これは令和4年度に実施した事業の部分になります。こちらの主な取り組み(抜粋)を資料としてご用意させていただきましたので、当日配布資料1をご覧ください。

こちらは、西区区ビジョンまちづくり計画第4次実施計画進行管理表ということで、この中から区役所と区民の皆様から協働でご参加いただきながらともに取り組んだ事業を主な事業として抜粋したものになります。本日は、この資料に基づいて説明をさせていただきます。

まず1枚目ですが、一番上、Iとして「人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまち」のうち「人と人がつながり支え合うまちづくり」の(1)の1「子育て支援事業」についてです。子育て支援事業では、妊娠期から子育て期の保護者が孤立せず不安や孤独感が解消され、地域の中で安心して子育てしていけることを目的に、子育て各期に渡る子育て支援講座を合計23講座開催いたしました。アンケート結果から参加者の満足度は高く、ママ友ができた、不安が解消されたなどの声をいただいております、事業目的を達成できたと考えております。

次に、(2)の5「西区健活チャレンジ事業」です。西区健活チャレンジ事業では、あらゆる世代を対象に生活習慣病予防と健康増進、健康寿命の延伸を目指して、誰でもどこでも健康教室、高齢者体操自主活動サポート事業を実施いたしました。令和5年度は、若年代への生活習慣病予防の意識醸成を図るため、特に子育て世代への働きかけに力を入れます。評価達成度は未達成となっておりますけれども、これは、新型コロナウイルス感染症拡大のため参加者数の制限や開催を中止したことにより、延べ人数が目標値に達しなかったことによるものです。

次に、「安心で安全に暮らせるまちづくり」の（１）の４「災害時における非難体制づくり」についてです。西区では、区民の皆様と一緒に、それぞれの地域オリジナルとなる地域の避難マップの作成を進めています。これは、地域の皆様とワークショップを行うことで、皆様の防災意識を高めるとともに、地域の皆様が危険だと思う箇所や安全だと思う避難ルートを反映したマップとなっています。これまで災害の種類や対象地域ごとに 60 種類のマップを作成してきました。評価達成度は未達成となっておりますが、これも新型コロナウイルス感染症拡大によってワークショップを中止したため、マップも作成できなかったことによるものでございます。

次に、大きな数字のⅡ「都市と農村が融合するまち」のうち「都市と農村の交流」の（２）の１「小学校での食育推進事業」についてです。食や農をとおして食育を推進するため、区内全 19 の小学校で西区一斉イモジェンヌ給食の日を実施したほか、３年生を対象に収穫体験、生産者交流などを実施いたしました。収穫体験では、広大な畑や大根の葉に驚いたり、家庭に持ち帰ってどのようにして食べたかを学校で嬉しそうに話していたりと、食や農を身近に感じる機会を提供することができました。

次に、Ⅲの「だれもが学び合える学術と文化のまち」のうち「だれでも学び合える環境づくり」の（１）の１「家庭教育振興事業」についてです。公民館では、多様な学びの場づくりの一環として各種家庭教育学級を実施しています。プレママ学級や乳児期・幼児期・児童期・思春期など、子どもの成長に合わせた講座や発達障がいに関する講座など、各種講座を実施するとともに、仲間づくりを推進しています。令和４年度は、区内の４公民館で 19 事業を実施いたしました。令和５年度も家庭における課題解決に向けて、引き続き各種講座を実施してまいります。

次に（２）の３「通学路の交通安全対策事業」についてです。西区教育支援センターは、西区内の各小学校の通学路整備に取り組みました。学校を通じ、令和３年度、令和４年度、それぞれ 9 校から対策必要箇所の報告を受け、それをもとに西警察署、西区役所建設課及び総務課、西区教育支援センターで構成する西区通学路交通安全推進会議を開催、その後、必要に応じて地域の方と現地を確認する合同点検を実施し、実際に必要となる安全対策を決定いたしました。

では、１枚おめくりください。次に「文化の継承・創造とスポーツ振興」の（２）の１「西区スポーツスマイルプロジェクト」についてです。区民のスポーツ、運動の習慣化に向けたきっかけづくりの提供や、スポーツ、運動の楽しさや喜びを感じてもらい、区民の交流機会を提供しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加人数の制限や受付手続きの一部電子化などの対策を講じ実施いたしました。実施事業としては、小学生対象の西

区かけっこ教室、小学生対象のプロアスリート教室、成人向けのランニング・ウォーキングセミナー、西区ウォークなど5事業を実施いたしました。参加者アンケートでは、また機会があれば参加したい、習ったことを家でも頑張りたいなど、評価をいただいております。また、アンケート内の感染症対策の取組項目でも評価は高く、参加者数の制限を設けた中でも一定の効果は得られたと考えております。

次に、Ⅳの「豊かな自然と快適な住環境を大切にすまち」のうち「自然環境の保全と活用」の(1)の2「西区一斉クリーンデー」についてです。西区一斉クリーンデーは、西区のコミュニティ協議会が主体となり、地域の関係団体と行う清掃活動です。同じ時期に各団体が活動することで、区の一体感を醸成し、環境美化意識の向上を図ります。市では、広報活動、集めたごみの回収の手配などの支援を行っています。平成21年度から西区自治協議会の提案事業として始め、着実に参加者数も増えておりましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標数の参加団体15には至らなかったため評価は未達成となりましたが、令和5年度からは「西区クリーン月間」にリニューアルし、多くの団体からの参加を呼び掛けてまいります。

次に、その下、3の「ボランティア清掃活動への支援」についてです。市では、自治会や民間団体などが行うボランティア清掃活動に使うごみ袋の無料提供やハサミの貸し出し、集めたごみの回収の手配などを行っています。西区は、ボランティア清掃の参加者数及び団体数が8区の中で最も多く、今後も皆様の活動をサポートできるよう支援していきます。

次に(3)の1「佐潟の保全と活用」についてです。佐潟水鳥センターでは、ボランティア解説員による佐潟自然散歩、佐潟探鳥散歩を通年実施したほか、子どもの通年自然体験事業として佐潟探検隊、通称「さかたん」など、計36回事業を実施いたしました。昨年11月二ラムサール条約地域自治体認証を新潟市が受けたことを契機に、魅力の発信と交流の促進を推進するため、佐潟水鳥センター事業を通じて自然環境の豊かさをアピールするとともに、SNSを活用した情報発信などを継続していきます。

次に(5)の1「まち歩き・観光ツアー」についてです。地域の魅力の再発見と交流人口の拡大を目的として、コロナ禍においても感染症対策をとりながら、観光ボランティアガイドの協力により、赤塚、内野、黒埼の各地域で計9回のまち歩きを実施いたしました。参加者アンケートの満足度は83パーセントでした。

次に「快適な住環境づくり」の(1)の3「市民とのみどりと花のまちづくり」についてです。この事業は、公園などの公共施設の緑化を行う団体に花苗などを支給するほか、地元自治会や老人クラブなどの地域の方から公園愛護会を組織していただき、公園の除草や清掃、樹木の育成をはじめ、遊具破損などの異常発生時の通報や安全な利用の指導といった活動を

行っていただいております。公園愛護活動は、公園を愛し美しくする運動を通じ、市民の相互の親睦を深め、健康の増進と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するものと認識していますので、本市としても引き続き地域の皆様のこういう活動を支援していきます。

次に（３）の１「新潟海岸飛砂対策事業」についてです。この事業は、新潟大学や地域住民の皆様、海岸管理者などで連携し、抜本的な飛砂対策の検討と対策を推進するものです。具体的には、本市が主体となって行う飛砂防止柵設置などとともに、真砂コミュニティ協議会をはじめとした地域住民の皆様との協働により、海浜植物の植栽を進めています。持続的な飛砂対策の取り組みに向けては地域の方々との協働が必要不可欠であることから、今後とも地域の協力を得ながらこの施策を推進していきたいと考えております。

また１枚おめくりください。次に、Ⅴとして「地域と区役所が共に歩むまち」のうち、「地域とのさらなる協働の推進」の（３）の２「出動！西区地域盛り上げ隊（中学生みらいデザイン編）」についてです。次代を担う子どもたちが、地域をよりよく知り、地域に関する関心を高めてもらうことを目的として、地域の課題解決を考えるワークショップを行いました。令和４年度は、坂井輪中学校の１年生が地元のまちづくり協議会の役員の方と、１０年後坂井輪地区がこうなっているといいなということをテーマにワークショップを行いました。中学生からは、１０年後の坂井輪の理想の姿として、今あるものを無駄にせず、寺尾駅を中心にして交流の場を増やしたりして、まちを賑やかにするなどの意見がありました。また、ワークショップ実施後のアンケートでは、中学生からたくさんの坂井輪のいいところがあった、坂井輪について話し合ったことで、よりこの地域を考えるようになったと思うなどの意見がありました。

報告は以上となりますが、今回は主な取り組みを抜粋して説明させていただきましたが、実施計画全体の取組状況をまとめた資料が地域課にございますので、全体版が必要な方は地域課の担当までお声がけいただければと思います。報告は、以上となります。

（大谷会長）

ありがとうございました。ただいまの報告について、質問はございませんでしょうか。

（田中（米）委員）

１号委員の田中です。

青山小学校区コミュニティ協議会と区で毎月報告があるので何とかならないかという話をしているのですが、通学路の安全対策事業なのですけれども、もう五、六年前からここは危ないから何とかしてくれと、毎年お願いしているのですけれども、それが全然改善されないのですけれども、どうして改善されないのでしょうか。

（福田教育支援センター所長）

西区教育支援センターの所長の福田です。ただいま田中委員からご質問がありました通学路の安全についてお答えしたいと思います。

教育支援センターで、学校から地域の皆さんにご意見をいただいて、通学路の危険箇所を毎年報告いただいております。その中で、西区の場合は、毎年全部の学校から報告をいただく形ではなく、三つのブロックに学校を分けさせていただきまして、今年度は6校、来年度6校、再来年度は7校という形で、少しずつの学校について対策を実施していくやり方で実施させていただいております。今のお話ですと、だいぶ前から学校にはお伝えしているというお話でしたので、実際にこちらにも上がってきていると思われるのですが、具体的な場所が分かりましたら、後ほど確認させていただきまして、現在どのような対応になっているかを改めて確認させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。ちなみに、今年度の対策については、今まさに学校から上がってきているところですので、今年度の中に入っている可能性もあるかなと思います。

(田中(米)委員)

青山小学校区コミュニティ協議会と区の方との会合が毎年一回ありますよね。そこでコミュニティ協議会から毎年上がっている場所があるのですが、小学校からではなくて、コミュニティ協議会でこの通学路は危ないので何とかしてくれということで話をしているのですが、それについてはどこか分かりますか。

(福田教育支援センター所長)

青山小学校区ですね。

(田中(米)委員)

そうです。

(福田教育支援センター所長)

青山小学校の西有明町の細い道路のことでしょうか。

(田中(米)委員)

有明ではなくて、通学路のところで、福祉会館があるのですが、あそこの脇の通学路なのですか。

(福田教育支援センター所長)

学校の方に向かう道路ということですね。

(田中(米)委員)

そうです。そこのところの信号待ちをする場所がないのですよ。

(福田教育支援センター所長)

今回の区政懇談会のところでご質問いただいております、回答する予定になっておりま

すけれども、こちらの西区で今年度、建設課も含めてどのような対応ができるかを検討していく予定になっております。

(田中(米)委員)

そうですね。もう何年も前から同じ場所で質問をしているのですけれども。

(福田教育支援センター所長)

申し訳ありません。私の記憶違いであれば申し訳ないのですけれども、昨年度、私が来てからは、その箇所についての懇談会での質問はなかったかなと。

(田中(米)委員)

それはいいですよ。毎年それは載っているのだから。もう一回よく調べてみてください。

(福田教育支援センター所長)

確認させていただいて、いずれにしても、今年度上がっていることは間違いありませんので、今年度、何らかの形で検討したいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(田中(米)委員)

お願ひします。

(大谷会長)

ほかに質問はございませんでしょうか。

質問はないようですので、続きましてその他の(1)「新年度!もっと知り合おう!交流ワークショップ」についてであります。山賀委員より説明をお願ひいたします。

(山賀委員)

改めまして、山賀より説明させていただきます。

当日配布資料の2が企画内容です。先に狙いをお話しさせていただきますが、新たな年度と、それから委員の改選もあって新しい委員もお迎えしたということもあって、もう少し委員同士が知り合ってもっといろいろな話ができるといいなと思ひまして、このワークショップを企画しました。私は長くやっていますけれども、本当にいろいろな方々が西区自治協議会にいらっしやって、コミュニティ協議会の方々も全地域からいらっしやっていますし、いろいろな活動をされている方々がいて、もしかしたらお互いに助け合うこともできたりとか、それからいろいろな知見をこの西区の地域づくりに活かせるのではないかなということ、今後の西区の自治協議会の協議の活性化ですとか、それからそれぞれの活動に活かせるような人的ネットワークをつくることを目的としています。先日の運営会議で運営会議のメンバーの皆さんにはご説明しまして、時間があれば、次回の6月の会議にやったらどうかというようなお話もいただきまして、それで今の設定としては次回の本会議、6月29日に設定し



ています。時間は、大体1時間半くらいを予定しています。目標としては、委員同士で顔の見える関係をつくる、それから委員各自が取り組む地域活動を理解する、委員各自の活動の中で捉えている地域課題を明らかにするという事です。

やり方としましては、今、口の字型の会議でやっていますけれども、なかなか発言もしづらいですし、いろいろな人と話すということは難しいので、島形に机を配置して、六つづつ、6人ずつのグループをつくります。時間を区切ってメンバーチェンジしながらいろいろな話をするというようなやり方にしています。話し合いのルールというものも設けました。時間も限られていますので、できるだけ一人が長く話し過ぎないとか、発言している人の話をしっかり聞くとか、否定や批判はしないと、皆で楽しい場づくりに努めるというようなルールを設けさせていただいています。そして進行は私が行いまして、記録係として西区の職員の皆さんからお手伝いいただくのと、タイムキーパーも職員の方をお願いしたいと思います。

裏面が具体的な進め方です。時間も限られていますけれども、お話をどうしていくのかということに悩む人がいらっしやるかと思ひまして、話しやすいように皆さんが話す内容を事前に準備してもらおうかなと思っています。プレゼンシートの記入ということが2行目くらいに書いてありますが、このA3の紙を4分割にしまして、この裏面の左下に書いてありまして、印刷が切れてしまっていますけれども、4分割にして、氏名、所属団体名、好きな○○、やってみたいこと、我が地域や活動する中で気になっていること、解決した問題ということ、これをまず書いていただきまして、これをもとに各グループで自己紹介をして意見交換をするというようなやり方です。20分ごとにメンバーチェンジをして、できるだけたくさんの方と顔見知りになる、いろいろな方々の活動を知るというようなやり方になっています。これを3回やりまして、最後、全体での振り返りということなんです。

話し合いの中で出てきたやってみたいことと気になっていることというのは、テーブルの上に模造紙か紙を用意しておきますので、それを職員の方に記録しておいていただいて、今後の協議に活かしたり、それから私はこういう活動をやっているけれども、あの人は手伝ってくれそうだなみたいな、そういうときに声を掛けやすくすることに活かしていきたいと思ひます。

一応このような流れでやってみたいと思ひまして、運営会議でもご了解いただきましたので、ぜひ次回、やらせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(大谷会長)

ありがとうございます。新しい企画ですので、ぜひ成功裏に終えさせていただきたいと思ひます。質問がございましたら、せつかくの機会ですのでお願ひいたします。

(風間委員)

今、A3の4分割にしてこの4項目を入れるという説明がありましたけれども、やってみたいことというのは、これは、例えば自分が住んでいる地域でやってみたいこととか、そういうことは一切限定しなくていいのでしょうか。

(山賀委員)

限定しなくていいです。自分の夢でもいいですし、地域の中でやってみたいことでも。

(風間委員)

はい。ありがとうございました。

(山賀委員)

ちなみに私は、15あるコミュニティ協議会全域でまち歩きをやってみたいということを書こうと思っています。

(大谷会長)

ありがとうございました。楽しくやってみたいと思いますが、ほかに意見がありましたらお願いいたします。では、ないようですので、6月29日の本会の後でございますので、皆さん、楽しみにしてご出席いただきたいと思います。

それでは、その他の(2)「イノシシの目撃情報について」であります。区民生活課より説明をお願いいたします。

(治田区民生活課長)

ありがとうございます。区民生活課の治田でございます。もう少しお付き合いください。

当日配布資料3をご覧ください。昨日、今年度初めてのイノシシ目撃情報がありましたので、お知らせいたします。昨年の11月以降目撃情報はありませんでした。昨日朝7時前に内野駅南口付近を通りかかった方が体長1メートルのイノシシを目撃したと近くの交番に駆け込み、その後、警察が付近をパトロールしましたが、今現在目撃情報はない状況です。

当日配布資料3表面の「イノシシにご注意ください」をご覧ください。二つ目にイノシシの特性を記載しております。イノシシは、本来とても臆病な動物と言われております。人に出会ってしまった場合、一刻も早く安全なところへ逃げようとします。この時、人のほうが気づくのが遅れたり、慌てて逃げ道を塞ぐような形になってイノシシに攻撃される場合が多いそうです。

3番目には、注意していただきたいことを記載しております。イノシシに出会ってしまった場合には、大きな声を出さずに、静かにその場を離れるようにしてください。学習能力が優れているイノシシは、一度覚えた食べ物の味に執着し、餌があった場所に再度出沒することがありますので、餌となる生ごみや野菜くずなどを放置しないようお願いいたします。

ペットフードの野外放置も餌付けになるそうです。

裏面は、出没位置図になりますが、今後目撃情報がある都度、左上の一覧と地図が埋まっていきます。一覧がいっぱいにならないことを願っております。最後に、注意事項を守っていただくことと、個体の目撃情報がありましたら、区役所、または警察に連絡をお願いいたします。

私からは以上です。ありがとうございました。

(大谷会長)

ありがとうございました。質問がありましたらお願いいたします。

ないようですので、ほかに委員の皆様からのお知らせはありますでしょうか。

(竹田委員)

小針小学校区の竹田でございます。質問ではないのですが、今日、来ましたら差し替えの資料がかなり山積みになっていまして、果たしてこの差し替えの資料というものが必要かどうかということで別に配られた資料と比べたのですが、まず、次第のところ、4番目の、どこが違うのかなと思いましたが、その他(2)のイノシシの目撃情報ですか、これが1行追加と。それから1号議案では、ご芳名が一人削減されているというレベルなのですね。そこだけならその資料だけでいいのではないかと思うのです。3枚も4枚もすべて再配布という形をとっておられますけれども、あるいは簡単な修正であれば、それぞれの出席した委員が書くなり誤字脱字を直したりすれば済むことであって、果たしてここまでやる必要があるのかというのは、今、非常に疑問に感じたのですが、先ほどの広報部会の最後のアンケートのところの一番下にも税金を節約してくださいという意見もあったようでございますので、小さいことかもしれませんが、これだけ行政の予算が手打ちとか、怠慢にやっているわけではないとは思いますが、これだけ丁寧にやっていく必要があるのかということの一つ疑問に感じました。今後は、直す箇所だけでいいのではないかと考えております。

(大谷会長)

ありがとうございました。この件は、ご回答を。できるだけこういうことがないような運営の仕方が望ましいのだらうと思いますが、お願いします。

(事務局)

本当は、なるべくこういうことがないことが一番望ましいことではあるのですが、今回のイノシシの件が突発的に出てきたりということで追加項目等があるのですが、今ほどの竹田委員のおっしゃられた意見も参考にさせていただきます。今後、なるべくこういう紙の無駄がないような形で進めさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

(大谷会長)

ありがとうございました。ほかに委員の皆さんから。なければ最後に事務局からの連絡に移りますが、いかがですか。

(木村委員)

私、五十嵐コミュニティ協議会の福祉部で推薦されて、西区社会福祉協議会の理事としてこちらに参加させていただいていたのですけれども、今日で任期満了で、新しい方が今度出られますので、皆さん、長い間どうもありがとうございました。一応、お礼のあいさつをさせていただきました。

(大谷会長)

突然のあれで迷っておりますが、大変ご苦労さまでございました。任期満了ということですね。

(木村委員)

そうです。コミュニティ協議会からの推薦の中で、組織が子ども部と福祉部が一緒になったのです。それでそのような形になりました。

(大谷会長)

では、よろしくお願いします。

それでは、最後に事務局からの連絡をお願いいたします。

(司 会)

事務局から連絡をさせていただきます。

まず、本日机上配布させていただきましたA3横の資料令和5年度新潟市区自治協議会新任委員研修会の質問・意見等に対する回答についてです。こちらは、市の市民協働課からの資料でございまして、この4月に開催されました自治協議会の新任委員研修会で上がった質問に対する回答の一覧でございます。参考までに後ほどご覧いただければと思います。

次にですが、本日ご承認いただきました委員推薦会議でございますが、早速ではあります。この本会議終了後に会議の座長を決めていただきたいと思いますので、申し訳ありませんが、委員推薦会議の構成委員の皆様は、本会議終了後、この会場に残っていただきますようお願い申し上げます。

次にですが、次回の会議の開催日についてご連絡をさせていただきます。こちらは、事前にお配りさせていただきましたA4の資料の「令和5年度西区自治協議会開催予定」をご覧ください。次回の第3回目になります自治協議会は、6月29日木曜日の午後3時からとさせていただきます。会場は、本日と同じ、ここ区役所の健康センター棟の1階の大会議室となります。こちら、会議の議題等の詳細につきましては、運営会議で調整をさせていただきます。

まして、改めて皆様にご案内させていただきたいと思います。

事務局からは、以上となります。

(大谷会長)

ありがとうございました。

(福田教育支援センター所長)

会長、一つよろしいですか。教育支援センターから。大変申し訳ありません。教育支援センターから、来月の自治協議会の中で教育委員会の事業説明を行わせていただくことについて、若干説明させていただきたいと思います。

お知らせの形ですので、お手元に資料はございません。例年、教育支援センターでは、6月、7月の時期に全体の教育支援センターの事業説明と、12月から1月の間に教育委員会全体の事業で特筆するというようなことに関して取り組みのご説明を担当課からさせていただいております。今年度につきましては、この6月の自治協議会の中で事業説明を簡単にさせていただいたうえで皆様から教育行政についてのご意見をちょうだいして、そのいただいたご意見をもとに来年度どのような事業を展開していくかということの参考にさせていただいて、冬の教育ミーティングのときにこのような形で取り入れましたということをご報告していこうという形で、年間の全体の流れを考えております。資料を6月の自治協議会の前に郵送させていただきますので、それに少し目を通していただいて、実際には説明をしながらでないといけない部分があるかと思えますけれども、資料以外のことでもけっこうですので、教育行政に伝えたいこと、要望したいことなどがございましたら、ぜひご意見としてちょうだいできればと思います。また、短い時間の中で行いますので、最終的にはアンケートの紙を配らせていただいて、それを意見聴取という形にさせていただくかもしれませんけれども、その際はご容赦いただきたいと思います。

以上、お知らせになりました。

(大谷会長)

ありがとうございました。

(原澤委員)

先月に引き続き、またチラシを配らせていただきました。オレンジ色のチラシでございます。先月配らせていただいたチラシは、4月から10月までの毎月第2土曜日に小針浜のなぎさのふれあい広場で清掃をしたり除砂したりという活動のチラシでした。去年からなのですが、6月だけは特別の企画ということで、この長い護岸、石畳のある長い護岸の中腹地点に30年ほど前につくられた小針浜夕日時計というものが埋まってしまっているので、これを皆で掘り出そうという企画を行いたいと思います。去年も区長はじめ70名ほどに集まっ

ていただきまして、今年も区長はじめ役所の職員にも来ていただけるということで聞いております。砂を掘るだけでは面白くないということで、今年は右下にございますように、少しイベントなども加えて、より多くの世代の方、多くの人にご参加いただけるような形でやっていきたいと思っています。この活動は、毎年続けていきたいと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(大谷会長)

ありがとうございました。せっかくですので、質問がございましたらお願いいたします。

原澤委員、これは 30 年間埋もれて、これがあるということをごなたが発議されたのですか。

(原澤委員)

私がいろいろと調べていく中で、ネットなどで調べてこういうものがあるというのを知って、そのころの方、そういえばそういうのがあったねみたいな話で、けれども、なかなか区役所も、大もとは多分都市計画課なのですけれども、なかなか資料がないみたいでして、全貌を出してどうかなということで、やりたいなということです。

(古俣(和)委員)

あれは、傾斜護岸を造ったのです。そのときに一緒に造ったです。場所もはっきりとした図面があるわけです。確実な図面はあるのです。私も知っているし。ただ、今、あのようにならなると分らないですけどね。間違いなくあるのですよ。

(原澤委員)

そうですね。今、グーグルマップで見いただくと、その辺のところに小針夕日時計ということで、私がポイントを付けてありますので、検索していただければその場所が分かると思います。ありがとうございました。

(大谷会長)

すみません。この映像は、昔の映像ですか。

(原澤委員)

そうです。

(古俣(和)委員)

できたときの映像です。竣工のときの。ほぼ竣工のときの。

(大谷会長)

それでは、ぜひ発掘していただきたいと思います。

よろしいですか。それでは、令和5年度第2回西区自治協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。